

岐阜県中山間農業研究所ニュース

2009年度 第 4 号

成功させよう!



2012
ぎふ清流国体
ぎふ清流大会

本 所 〒509-4244 岐阜県飛騨市古川町是重2-6-56
TEL: 0577-73-2029 FAX: 0577-73-2751
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp
中津川支所 〒509-9131 岐阜県中津川市千旦林鍛冶屋平643-1
TEL: 0573-68-2036 FAX: 0573-68-3116
E-mail: c24402@pref.gifu.lg.jp

— 地域のための研究・開発 —

今年も平成21年度末を迎え、研究の成果のとりまとめを行っております。この中で地域の皆様と研究の成果について検討する場として「研究成果検討会」を本所と支所で開催しました。今回はこれら「研究主要成果」の紹介を行います。

● 研究成果検討会を開催しました。

本所では2月23日、飛騨市古川町総合会館で、中津川支所は24日に恵那総合庁舎で研究成果検討会を開催しました。市町村、県の行政担当者、J A、農業者等合計 200人以上の参加を頂き、熱心に質問や提案・議論を頂きました。こういった意見・提案を今後の研究に活かしていきたいと思えます。



成果検討会（本所）の風景

ご来賓の地元県議会議員よりご鞭撻の辞を頂きました

● 低温期の保温がトマトの生産性に及ぼす影響

既存の雨よけハウスで、4月中旬にトマトを定植すると順調な生育をさせることが難しい。これを解決するため、2重被覆でハウス内気温を上昇させるとともに、「水封マルチ」、「米糠発酵」による地温の上昇が有効でした。

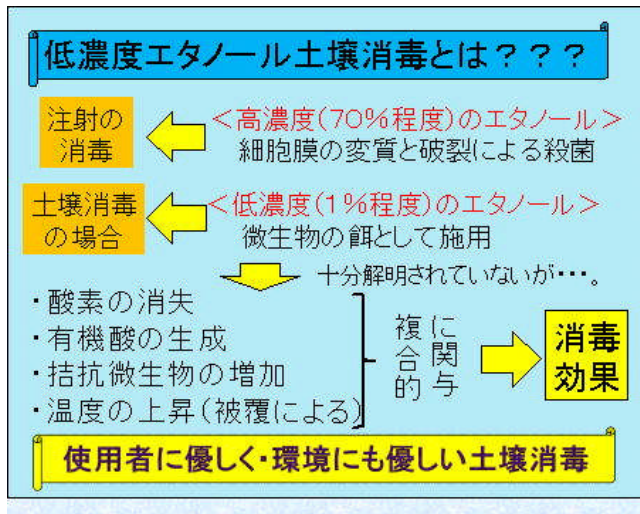
この中で「米糠発酵」は、効果は大きいものの、管理作業が煩雑なのが欠点でした。「水封マルチ」は、設置の手間が別に必要ですが、安定した効果が得られ有望と思われました。



水封マルチの設置状況

● 低濃度エタノール処理はハウレンソウ土壤病害対策に有効

夏どりハウレンソウの土壤病害を防止するため、環境に優しい防除方法を検討しています。今回は低濃度のエタノールを処理すると、様々な微生物等の活動により病原菌が減少しました。



低濃度エタノールの処理風景

● 東濃地域に適する飼料用米品種を選定しました

「北陸193号」は、安定して高い収量が得られる中晩生品種です（中津川市）。今回は市役所等関係機関、生産者とともに現地栽培試験を行い、目標である全刈り収量 1 t/10a を達成しました。

また「夢あおば」は、早生品種の中で多収であり、直播栽培にも適しています。また、収穫を遅らせる立毛乾燥を行うことで籾水分を15%以下まで低下させることができ、乾燥費を削減するのに有利と思われました。



飼料稲「北陸193号」

● おいしくて、「ぼろたん」の授粉樹にも適したクリの晩生品種「美玖里（みくり）」登場

クリの新品種「美玖里」（農研機構果樹研究所育成）」は、大果で、とても美味しく、銘菓「栗きんとん」の加工にも最適です。「美玖里」の収穫期は9月下旬から10月上旬の晩生品種であるため、渋皮が向けやすいことで注目され導入が進んでいる「ぼろたん」と収穫期が重ならず、収穫果実が混ざる恐れが非常に少なく、授粉樹としての利用も期待されます。



「美玖里」の果実



「美玖里」で作った
栗きんとん。黄色くて、
ほくほくして美味しい！
（お菓子屋さんの
お墨付き）